

### お知らせ

組合費は班会議での納入をお願いします。8月はお盆があるので、班によっては日程が変更されることがあります。ご確認ください。

### 発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部  
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37  
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059  
《発行人》朝志和支部教育宣伝部  
第229号 定価30円  
(機関紙代は組合費に含まれています)  
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp

# 朝志和

## 第47回ふれあい住宅デー

# 建設職人の技を地域にアピール



包丁研ぎを行う花の木分会の仲間たち=上内間木町内会館にて

### 工作教室に多くの笑顔 建設関連企画の取り組み

今年で47回目となる「ふれあい住宅デー」は、6月9日(日)、10時から15時で開催しました。10分会12会場で開催され、全体で166人が参加しました。

今年度の住宅デーに向けて、23年度に2回の実行委員会を開催し、内容を討議しました。各分会で包丁研ぎができる人が少なくなっているため、メインとなる企画は「住宅困りごと相談」として埼玉建の地域へのアピールを行うことを確認しました。

当日は昨年の雨天とは異なり、曇り空での開催となりました。各会場で8時から準備を始めて、10時からの開催に備えました。黒目川分会の会場の北浦公園では、塗り壁体験や、ペン立てづくりなどを企画し、子どもたちも様々な体験をしてもらいました。昨年雨のため中止にした「上棟式」を行い、沢山の子どもたちも家が建つまでの流れ

「立憲主義を取り戻す！戦争させない！9条こわすな！6・2オール埼玉総行動」が6月2日(日)、さいたま市の北浦和公園で行われました。全体で6500人、朝志和支部からは90人が参加しました。

小出実行委員長は「私たちの子や孫に平和を引き継ぐため、力を合わせて頑張りぬこう」と強調。日本体育大学の清水教授がゲストスピーチし「総選挙で統一教会と裏金まみれの自民党を減らさなければいけない。全国で野党の共闘を強め、

### 次の世代に平和を引き継ぎ オール埼玉総行動



「9条こわすな」と浦和駅までアピールし

を見てもらうなど、家が建つまでに関わる仕事クイズなども行い子どもたちの注目を集めました。また、朝霞北分会の会場の北朝霞公園では丸太切りを行い公園に来た子どもたちにものこぎりの使い方などを説明し「普段使うことのないのこぎりを楽しく使った」や参加した子の親からは「こんな体験をさせてもらえるのはありがたい」などの感想を頂きました。どこの分会もプラス2企画により子どもたちが多い住宅デーでした。

部長会議では「住宅困りごと相談もプラス2企画も1年では定着しない。何年も行ってやっと市民の理解も貰えるようになるから、やり続けることが大切だ」と意見もあつたことから、今回の



朝霞北分会の丸太切り体験=北朝霞公園にて

住宅デーの総括をしつかり行って、次年度以降の住宅デーに繋げより良くしていきます。

【技術住宅部長 水野高】

### 前進

「定額減税」が6月から始まった。納税者本人と家族1人ひとりに4万円(国税3万円、地方税1万円)が24年の税金から控除される。夫婦と子ども2人の4人家族ならば16万円となる計算▼しかし、この定額減税の仕組みは非常に複雑で、24年の所得税から減税額を引ききれないと見込まれる場合は、その差額を推定計算し、「調整給付」として現金が支払われることになっている。それなら国民に「給付金」とすれば良かったのだが、「増税メガネ」と揶揄される首相は「減税」にこだわった▼岸田首相は23年秋にも解散総選挙を模索していた。24年9月には自民党総裁任期を迎えるため、その前に解散総選挙で勝利、総裁続投というシナリオを描いていた。

しかし、止まらない物価上昇や自民党パーティー券収入が「裏金」化して議員に還元していた問題により解散どころではなくなった。残ったのが、非常に複雑な「定額減税」となった▼この複雑な減税と給付が混在する制度により、また「給付金サギ」が増えるのではないかと心配するのは私だけだろうか。

# 好評の子ども工作教室

## 宗岡分会住宅デー

6月9日(日)第47回住宅デーが全県一斉に行われました。

宗岡分会は深町児童公園に9時前に集合し、栗田分会長から「今日は1日宜しく願います」とあいさつがありました。

高橋技住対部長より「包丁を扱うので、ケガの無いように気を付けていきましょう」とのあいさつがあった後、ブルーシートを敷いたりテントを張ったりして準備完了。最初にまな板削りに来てくれた人に、「たまのくじ」をやってもらった。

たまたま大吉が出て、幸先良いスタートと思いましたが、その後は小吉ばかり。渡利書記長を中心にした板削り、高橋部長以下、二上さん・佐藤建二さん・市村さん・名雪副分会長の5人で包丁研ぎ、平井さん、峯村政彦さんを中心に子どものタイルアートやくぎ打ち・丸太切り・ヨーヨーなどを担当し、とても好評でした。大熊副分会長と栗田分会長の奥さんが受付を担いました。

雨も降らずに住宅デー日和となり、昼食休憩を挟み14時30分に受付終了しようとしたら「何かか包丁を研いでもらいたい」と言ってきた方がいたので、最後に一本研ぐこととなりました。組合員・主婦の会員合わせて15人が参加し、包丁研ぎ35丁・まな板削り2枚でした。来場者は大人25人・子ども11人でしたが、大きな住宅相談はありませんでした。15時に片付けて支部に荷物を置きに行く人、そのまま帰る人に分かれて解散となりました。

【宗岡 栗田伴春】

# 上棟式や楽しいイベント

## 黒目川分会住宅デー

毎年天候が懸念される住宅デーですが、今年は終日曇り空でしたが、最高の住宅デー日和でした。当日は7時半から集まり北浦公園と熊谷工務店の2会場に分かれ、力をあわせ10時の開場に間に合うように準備をしました。北浦公園では、恒例の包丁研ぎ、まな板削り、網戸張替えとメインイベントの模擬上棟式、焼きフランク、落書き、木工教室、塗り壁体験、ゴム鉄砲、輪投げなどを行いました。まな板削りと網戸の張替えは熊谷工務店に運んで作業を行いました。北浦公園では子ども連れの家族が多く100円フランクの売れ行きも良かったです。

「将来どんな家に住みたい？落書きコーナー」では描ききれない程びっしりと子どもたちが絵を描いてくれました。それを見ていた親から係の人に「そういえば、親が住んでいた家をリフォームするの？建て直すか迷っているんです」と住宅相談の話が出ました。「こんなことがきっかけになり、住宅相談に繋がるとは思わなかった。住宅相談の看板ももっと気軽に声を掛けやすい物にした方が良いね」と感想が出ました。

今年度の住宅デーはイベントを企画した私たち、来場したお客さん達も喜びが色々あって楽しい一日でした。

【黒目川 藤原忠夫】



包丁研ぎを行う高橋文雄さん(左)、二上さん(右)＝深町児童公園にて



多いに盛り上がった上棟式の様子＝北浦公園にて



塗り壁体験＝黒目川分会



釘打ち体験に参加してくれた子どもたち

# くじカード

正解者には抽選で5名に図書カードを進呈  
宛先：支部教宣部あて締切：二五日消印

・ヨコのカギ

・タテのカギ

①七夕の織姫星のことで  
①興奮させる…の強い映画

②は自ら助くる者を助けて、ほう姿勢のことです

③地中で爆発させる兵器

④日が沈んでももない明星と呼ばれる惑星

⑤明日天気になっておくれ

⑥：停。観光…

⑦競走相手。好敵手

⑧：返し。2の2…は4

⑨「明けの明星」「宵の明星」と呼ばれる惑星

⑩人が生きていくための住居費や食費・光熱費など

⑪詩や和歌、俳句のこと

⑫魚へんに喜と書いて？

⑬7月第3月曜は…の日

⑭作者…のサインがある

⑮有名な6月の誕生日

⑯反対語は「過去」

⑰ニワトリより小型で、肉や卵が美味なキジ科の鳥

⑱桃太郎が犬・猿・キジに与えた…だんご

⑲へいや石垣などにはう植物

⑳雨がよく降る季節

㉑腹つぶみを打つ動物

㉒ギニョールは…人形

㉓雨がよく降る季節

1	2	3	4	5	
6		7	8		9
10		11		12	
13		14		15	
16		17		18	
19		20		21	
22		23			

当選者は、発送を持って代えさせていただきます。